

第17回

日本女性腎臓病医の会

JSWN総会

Japanese Society of Women Nephrologist

日時

2019年 6月21日(金)

総会19:00~21:00(18:30 受付開始) 懇親会21:00~22:30

会場

サイプレスガーデンホテル パルティール 〒456-0002 愛知県名古屋市中熱田区金山町1-9-8

参加費 3,000円 (別途JSWN年会費2,000円を申し受けます)

事前の参加登録は必要ございません。当日会場に直接お越しください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

JSWN代表世話人

京都華頂大学
現代家政学部

武曾 恵理

第17回総会当番世話人

名古屋第二赤十字病院
腎臓内科

武田 朝美

プログラム

地域活動報告

座長 濱田 千江子 順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院
北海道、東北、北信越、関東、東海、近畿、中国、四国、九州・沖縄

JSWN研究活動奨励賞授賞式

座長 武曾 恵理 京都華頂大学 現代家政学部

●2017年度受賞者経過報告

小林 麻美子先生 福井大学医学部附属病院 腎臓内科

『G蛋白共役型受容体:GPR41, GPR43を介した
短鎖脂肪酸の慢性腎臓病への治療応用』

遠藤 知美先生 北野病院 腎泌尿器センター 腎臓内科

『我が国における腎障害を有するANCA関連血管炎患者の、
長期的腎予後予測に有用な組織学的パラメーターの評価と、
これに寄与するサイトカインの検討』

●2018年度受賞者講演

松本 あゆみ先生 大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学

『Artificial Intelligenceによる腎生検組織評価法の確立』

大島 恵先生 金沢大学 腎臓内科学

『糖尿病性腎臓病における新規サロゲートエンドポイントの確立と国際比較』

主 催 JSWN(日本女性腎臓病医の会)

事務局 濱田千江子 順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院
片淵律子 福岡東医療センター 腎臓内科
若井幸子 東京都保健医療公社大久保病院 腎内科

事務取扱い担当:株式会社ビーシーオーワークス

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-4-2 神田アーバンビル 2階
TEL:03-3291-3636 FAX:03-3291-3635 E-mail:jswn_info@pcoworks.jp

特別講演

座長 武田 朝美 名古屋第二赤十字病院
腎臓内科

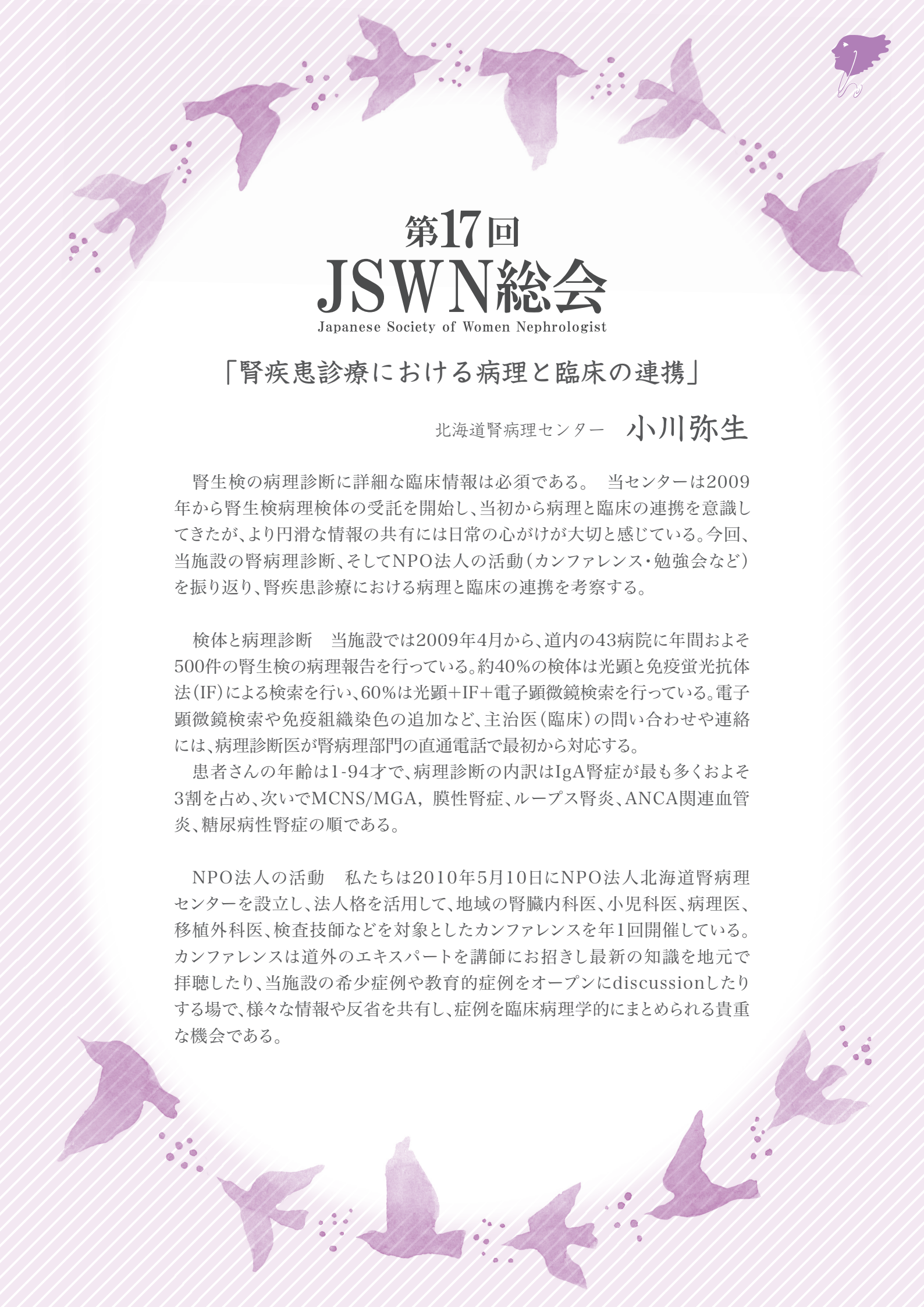
小川 弥生先生

北海道腎病理センター

『腎疾患診療における
病理と臨床の連携』

総会後懇親会

裏面もご覧ください。



第17回 JSWN総会

Japanese Society of Women Nephrologist

「腎疾患診療における病理と臨床の連携」

北海道腎病理センター 小川弥生

腎生検の病理診断に詳細な臨床情報は必須である。当センターは2009年から腎生検病理検体の受託を開始し、当初から病理と臨床の連携を意識してきたが、より円滑な情報の共有には日常の心がけが大切と感じている。今回、当施設の腎病理診断、そしてNPO法人の活動(カンファレンス・勉強会など)を振り返り、腎疾患診療における病理と臨床の連携を考察する。

検体と病理診断 当施設では2009年4月から、道内の43病院に年間およそ500件の腎生検の病理報告を行っている。約40%の検体は光顕と免疫蛍光抗体法(IF)による検索を行い、60%は光顕+IF+電子顕微鏡検索を行っている。電子顕微鏡検索や免疫組織染色の追加など、主治医(臨床)の問い合わせや連絡には、病理診断医が腎病理部門の直通電話で最初から対応する。

患者さんの年齢は1-94才で、病理診断の内訳はIgA腎症が最も多くおよそ3割を占め、次いでMCNS/MGA、膜性腎症、ループス腎炎、ANCA関連血管炎、糖尿病性腎症の順である。

NPO法人の活動 私たちは2010年5月10日にNPO法人北海道腎病理センターを設立し、法人格を活用して、地域の腎臓内科医、小児科医、病理医、移植外科医、検査技師などを対象としたカンファレンスを年1回開催している。カンファレンスは道外のエキスパートを講師にお招きし最新の知識を地元で拝聴したり、当施設の希少症例や教育的症例をオープンにdiscussionしたりする場で、様々な情報や反省を共有し、症例を臨床病理学的にまとめられる貴重な機会である。